

公開実用新案公報

昭53—119823

⑪Int. Cl.²
H 04 N 5/645

識別記号

⑫日本分類
97(5) G 3庁内整理番号
6024—59

⑬公開 昭和53年(1978)9月22日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭陰極線管取付装置

東京芝浦電気株式会社深谷工場
内

⑮実 願 昭52—24605

⑯出 願 昭52(1977)3月1日

⑰考 案 者 川田典夫

深谷市幡羅町1丁目9番2号

⑱出 願 人 東京芝浦電気株式会社

川崎市幸区堀川町72番地

⑲代 理 人 弁理士 鈴江武彦 外2名

⑳実用新案登録請求の範囲

(1) キャビネットの開口に内側から管軸と垂直な映像面の周縁部を係止される陰極線管と、前記開口の内側周縁に固定される枠状の取付装置本体と、この取付装置本体にその枠内方向へ向つて一体に形成され、前記陰極線管のファンネル部を前記開口方向へ押圧する弾力性を有した押圧部とを具備したことを特徴とする陰極線管取付装置。

(2) 前記押圧部は、取付装置本体の複数箇所に舌片状に形成されたことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載の陰極線管取付装置。

(3) 前記押圧部は、前記取付装置本体に連続一体に形成される略台形円筒体の端部にすり割を設けて形成されたことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載の陰極線管取付装置。

(4) 前記押圧部は、前記取付装置本体に連続一体に形成される略台形円筒体の一部に略コ字形の

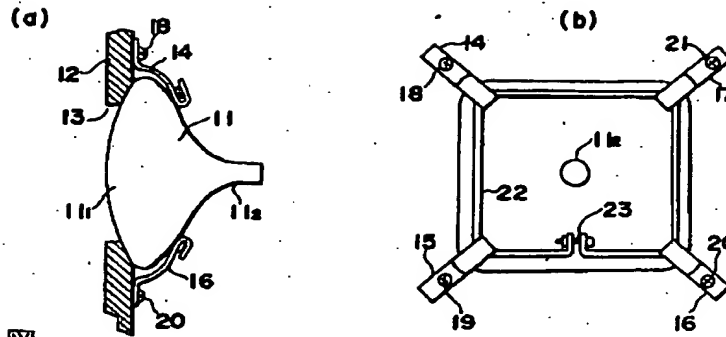
すり割を設けて形成したことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載の陰極線管取付装置。

図面の簡単な説明

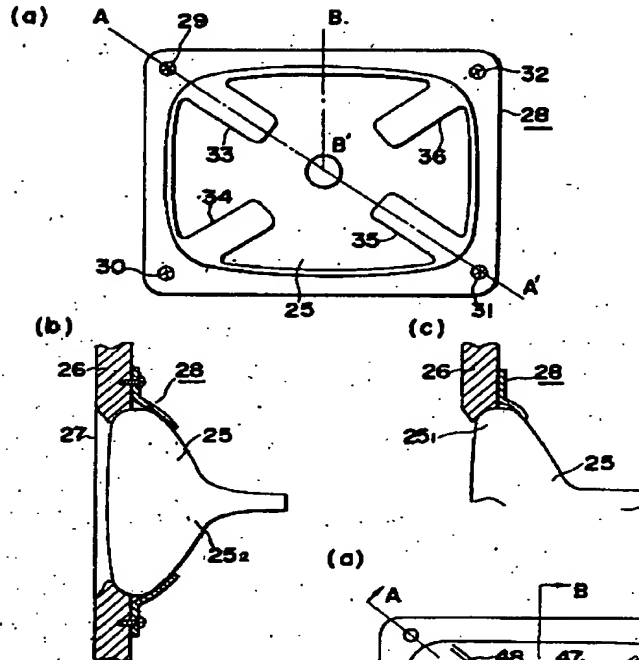
第1図は従来の陰極線管取付装置を示すもので、同図aは断面図、同図bは背面図、第2図は本考案陰極線管取付装置の一実施例を示すもので、同図aは背面図、同図bはA—A'線上からみた断面図、同図cはB—B'線上からみた断面図、第3図は本考案の他の実施例を一部断面して示す側面図、第4図は本考案の更に他の実施例であり、同図aは背面図、同図bはA—A'線上からみた断面図、同図cはB—B'線上からみた断面図である。

25……カラーブラウン管、26……キャビネット、27……開口、28……取付装置本体、33～37、45～48……押圧部、38、41～44……すり割。

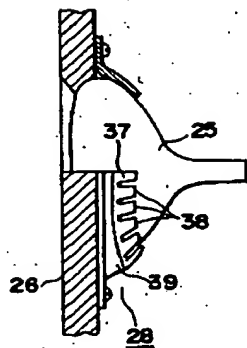
第1図



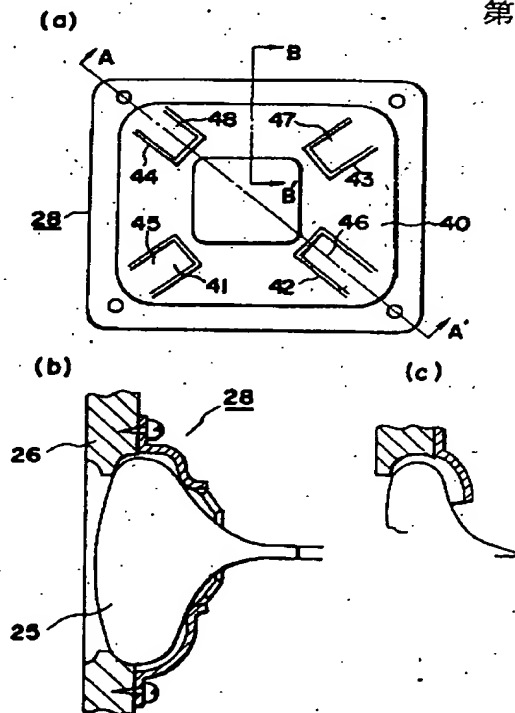
第2図



第3図



第4図





(3,000円)

実用新案登録願(7)

昭和 52.3月-1 日

特許庁長官 片 山 石 郎 殿

1. 考案の名称

インヤロクセンカン トリ フケ ソウ ナ
陰極線管取付装置

2. 考 案 者

フカヤ シヘタラ ナウ
埼玉県深谷市幡羅町1丁目9番2号
トウヤロクセンバウラデン ヤ フカ ヤコウジロウ ナイ
東京芝浦電気株式会社深谷工場内
カワ タ ノリ オ
川 田 典 夫

3. 実用新案登録出願人

住所 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

名称 (307) 東京芝浦電気株式会社

代表者 玉 置 敬 玉
岩 田 式 夫

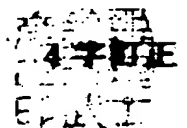
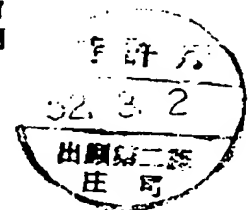
4. 代 理 人

住所 東京都港区芝西久保桜川町2番地 第17森ビル
〒 105 電話 03 (502) 3181 (大代表)

氏名 (5847) 弁理士 鈴 江 武 彦
(ほか2名)

方式 査 査 (丸)

53-119823-5
52 024605



明 細 書

1. 考案の名称

陰極線管取付装置

2. 実用新案登録請求の範囲

- (1) キヤビネットの開口に内側から管軸と垂直な映像面の周縁部に係止される陰極線管と、前記開口の内側周縁に固定される枠状の取付装置本体と、この取付装置本体にその枠内方向へ向つて一体に形成され、前記陰極線管のファンネル部を前記開口方向へ押圧する弾力性を有した押圧部とを具備したことを特徴とする陰極線管取付装置。
- (2) 前記押圧部は、取付装置本体の複数箇所に舌片状に形成されたことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載の陰極線管取付装置。
- (3) 前記押圧部は、前記取付装置本体に連続一体に形成される略台形円筒体の端部にすり割を設けて形成されたことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載の陰極線管取付

装置。

- (4) 前記押圧部は、前記取付装置本体に連統一体に形成される略台形円筒体の一部に略コ字形のすり割を設けて形成したことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載の陰極線管取付装置。

3. 考案の詳細な説明.

本考案はカラーテレビジョン受像機のブラウン管等を保持する陰極線管取付装置に関する。

カラーテレビジョン受像機のブラウン管を前面キャビネットの開口部にその映像面を対応させて配設し固定する手段として第1図に示すような手段がある。すなわち11はカラーブラウン管であり、その前面の映像面部111は、キャビネット12の開口13に対応して配設される。そして、前面キャビネット12の裏面にはその開口周縁に複数の取付金具14、15、16、17の一端部が蝶子18、19、20、21によつて固定される。また前記取付金具14、15、16、17の他端側は、それぞれ

開口 1 3 の中心方向へ延在されており、かつ、
前記カラーブラウン管 1 1 のネック部 1 1 ; 側
へ配設されている。そして、取付金具 1 4 ,
1 5 , 1 6 , 1 7 の各先端は、たとえば外方に
U 字状に折曲され、この部分を連らねるように
締付バンド 2 2 が通され、締付具 2 3 によつて
締付けられる。従つて、前記カラーブラウン管
1 1 は開口 1 3 の周縁にキャビネット 1 2 の内
側から押付けられるように固定される。

上配した従来の陰極線管保持装置によると、
部品点数及び組立工数が多く、高価となる欠点
がある。

本考案は上記従来の欠点を除去すべくなされ
たもので、組立が簡単で部品数も少くて済み、
安価で安定した陰極線管の固定効果が得られる
陰極線管保持装置を提供することを目的とする
ものである。

以下本考案の実施例を第 2 図及び第 3 図を参
照して詳細に説明する。すなわち第 2 図^(a)(b) , (c) 3 字加入
において 2 5 は、カラーブラウン管である。こ

のカラーブラウン管 25 の映像面は、受像機キャビネット 26 の前面開口 27 (同図 (b) に示す) と平行にこれを閉じるように配設される。そして、キャビネット 26 の裏面側から、取付装置本体 28 が前記開口 27 の周縁つまり、カラーブラウン管 25 の映像面周縁に配設され、前記キャビネット 26 に螺子 29 , 30 , 31 , 32 等で固定される。前記取付装置本体 28 は、略矩形状枠体であり、弾力性を有した絶縁性の合成樹脂などによつて成形されており、カラーブラウン管 25 の周縁に鋸状に設けられるフレーム (図示せず) あるいは周縁部 251 (第 2 図 (c) に示す) を前記キャビネット 26 の内面に押し付け挟むことができる。しかしこの保持力のみでは、カラーブラウン管 25 とかキャビネットの開口 27 等のけらつきによつて、がたつきが生じるのでさらに、取付装置本体 28 の中心方向 (つまりカラーブラウン管の軸心方向) に向つて延在されたたとえば舌片状の押圧部 33 , 34 , 35 , 36 をたとえば四角にそれ

ぞれ一体形成している。この押圧部 33, 34, 35, 36 は、カラーブラウン管 25 の漏斗状フアンネル部 25₂ を弾力的に前面方向へ押圧するように、管面に略沿った彎曲形状に成形されている。

なお本考案は、上記実施例に限定されるものではなく、第 3 図に示すように、複数の押圧部 37 が複数のすり割り 38 によつて形成されてもよい。すなわちこの場合は、取付装置本体 28 に略台形円筒体 39 が一体成形され、この端部にすり割り 38 が設けられたものである。

さらに本考案は、第 4 図に示すように取付装置本体 28 にフアンネル部外周を覆うような略台形円筒体 40 を一体に形成し、この円筒体 40 の一部にコ字形のすり割 41, 42, 43, 44 を形成し、このすり割で囲まれる部分を押圧部 45, 46, 47, 48 としてもよい。この場合は同図 (b) に示すように押圧部 45, 46, 47, 48 を弾力性を有するように内部方向に折り曲げておき陰極線管のフアンネル部に押付

けることができるように設定しておく方がよい。
なお同図(c)は同図(a)のB↔B'からみた断面図である。

上記の如く構成される本考案の陰極線管取付装置によると、カラーブラウン管を取付け固定する作業が非常に容易となり、キャビネットに取付装置本体を蝶子等で締付けるだけでよい。したがって従来の如く締付バンドを締付ける作業もこのバンド自体も不用となる。また従来に比べ部品数も少く安価となる。さらに、取付装置本体で充分固定効果が得られなくとも押圧部によつてこれを補うことができ、ブラウン管のぼらつきとか開口部の形成ぼらつきに対しても充分対処することができる。

以上説明したように本考案は、組立が簡単で部品数も少くて済み、安価で安定した陰極線管の固定効果が得られる陰極線管取付装置を提供することができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は従来の陰極線管取付装置を示すもの

で、同図(a)は断面図、同図(b)は背面図、第2図は本考案陰極線管取付装置の一実施例を示すもので、同図(a)は背面図、同図(b)はA - A'線上からみた断面図、同図(c)はB - B'線上からみた断面図、第3図は本考案の他の実施例を一部断面して示す側面図、第4図は本考案の更に他の実施例であり、同図(a)は背面図、同図(b)はA - A'線上からみた断面図、同図(c)はB - B'線上からみた断面図である。

25 ... カラーブラウン管

26 ... キャビネット 27 ... 開口

28 ... 取付装置本体

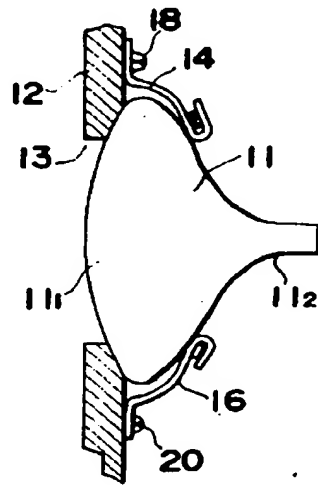
33 ~ 37, 45 ~ 48 ... 押圧部

38, 41 ~ 44 ... すり割

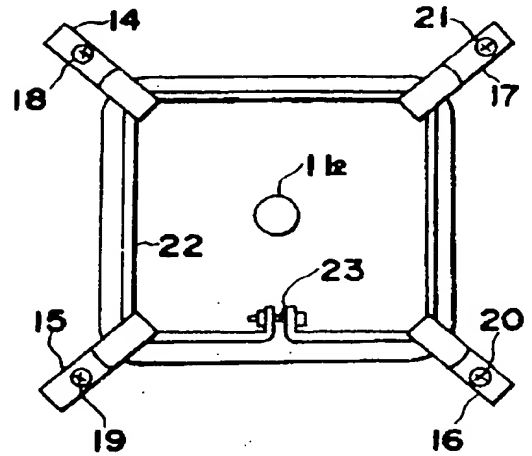
出願人代理人 弁理士 鈴 江 武 彦

★ 1 図

(a)

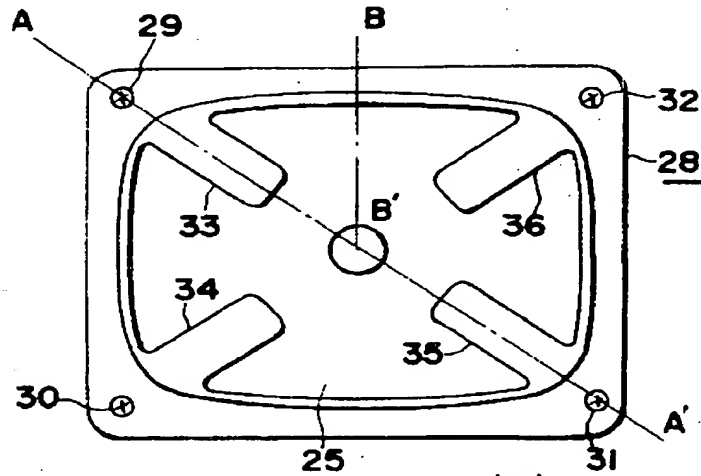


(b)

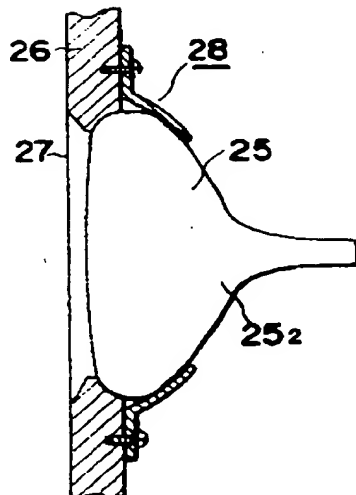


★ 2 図

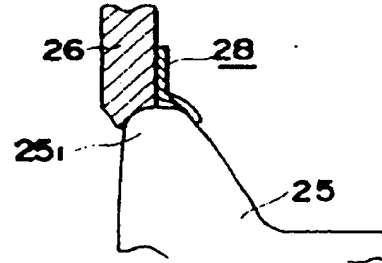
(a)



(b)



(c)



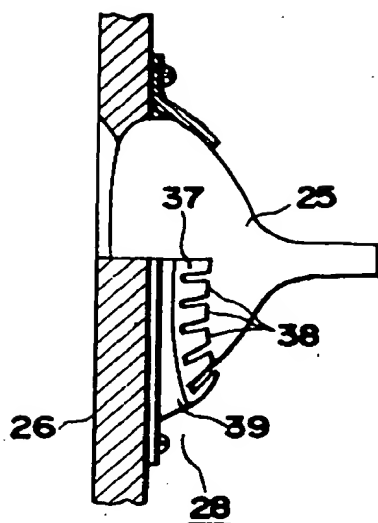
90769027

767561 1/2

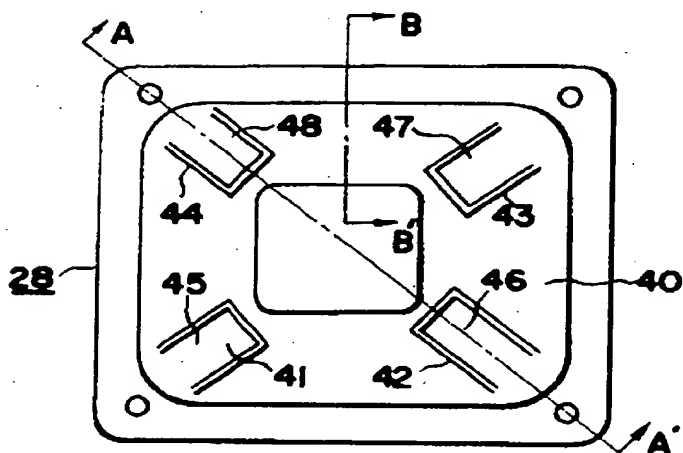
119823 2

出願人 東京芝浦電気株式会社
代理人 鈴 江 武 彦

才 3 図

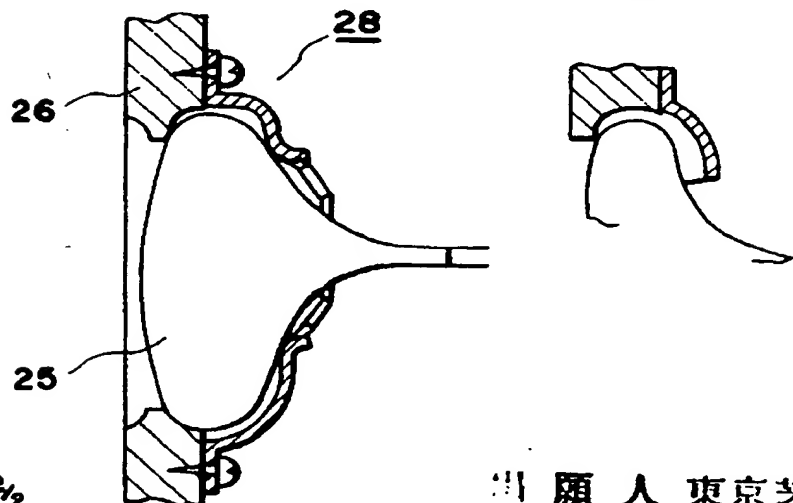


才 4 図 (a)



(b)

(c)



90769027
767561 2/2

119828 1/2

出 願 人 東京芝浦電気株式会社
代 理 人 鈴 江 武 彦

5 添付書類の目録

- (1) 委 任 状
- (2) 明 細 書
- (3) 図 面
- (4) 願 書 副 本

1 通
1 通
1 通
1 通

同時提出の願書(1)に添付する。

6 前記以外の考案者、実用新案登録出願人、代理人

代 理 人

住所 東京都港区芝西久保桜川町2番地 第17森ビル

氏名 (5743) 弁理士 三 木 武 雄

住所 同 所

氏名 (6881) 弁理士 坪 井

特許
弁理士
印

53 119822

[54] Title of the Utility Model: Cathode Ray Tube Mounting Device

[11] Utility Model Laid-Open No.: 53-119823

[43] Opened: Sep. 22, 1978

[21] Application No.: 52-24605

[22] Filing Date: Mar. 1, 1977

[72] Inventor: N. Kawata

[71] Applicant: Tokyo Shibaura Denki Co., Ltd.

[51] Int. Cl.: H04N 5/645

[What is claimed is]

1. A cathode-ray tube mounting device comprising a cathode-ray tube having a peripheral edge of an image screen vertical to the tube axis fixed from the inner side to the opening of a cabinet, a frame-form mounting device main body affixed to the inner peripheral edge of the opening, and an elastic pressing part formed integrally in the mounting device main body toward the inner direction of the frame for pressing the funnel of the cathode-ray tube in the direction of the opening.

2. The cathode-ray tube mounting device of claim 1, wherein said pressing part is formed in a tongue shape at plural positions of the mounting device main body.

3. The cathode-ray tube mounting device of claim 1, wherein said pressing part is formed by providing a slotting at an end of a nearly trapezoidal cylindrical body formed continuously and integrally to the mounting device main body.

4. The cathode-ray tube mounting device of claim 1, wherein said pressing part is formed by providing a pi-shaped slotting in part of a nearly trapezoidal cylindrical body formed continuously and integrally to the mounting device main body.

[Brief Description of the Drawings]

Fig. 1 shows a conventional cathode-ray tube mounting device, in which (a) is a sectional view, and (b) is a rear view; Fig. 2 shows an embodiment of a cathode-ray tube mounting device of the invention, in which (a) is a rear view, (b) is a sectional view along line A-A', and (c) is a sectional view along line B-B'; Fig. 3 is a side view showing a partial section of other embodiment of the invention; and Fig. 4 shows a different embodiment of the invention, in which (a) is a rear view, (b) is a sectional view along line A-A', and (c) is a sectional view along line B-B'.

25 Color cathode-ray tube
26 Cabinet
27 Opening
28 Mounting device main body
33-37, 45-48 Pressing part
38, 41-44 Slotting



実用新案登録願(7)

(3,000円)

昭和 52.3.1 日

特許庁長官 片 山 石 郎 殿

1. 考案の名称

インキロタセンカン トリ フケ ソウ ナ
陰極線管取付装置

2. 考案者

フカ ヤ シ ハタ ラ ナホウ
埼玉県深谷市幡羅町 1 丁目 9 番 2 号
トウキョウケンバウラデンキ フカ ヤ コウジヨウカイ
東京芝浦電気株式会社 深谷工場内
カワ 田 ノリ 夫
川 田 典 夫

3. 実用新案登録出願人

住所 神奈川県川崎市幸区堀川町 72 番地
名称 (307) 東京芝浦電気株式会社

代表者 玉 置 敬 夫
岩 田 式 夫

4. 代理人

住所 東京都港区芝西久保桜川町 2 番地 第17森ビル
〒 105 電話 03 (502) 3181 (大代表)
氏名 (5847) 弁理士 鈴 江 武 彦

(ほか 2 名)

方式 査 査 (丸)

53-119823
52 024605

明 細 書

1. 考案の名称

陰極線管取付装置

2. 実用新案登録請求の範囲

- (1) キヤビネットの開口に内側から管軸と垂直な映像面の映像部を係止される陰極線管と、前記開口の内側周縁に固定される枠状の取付装置本体と、この取付装置本体にその枠内方向へ向つて一体に形成され、前記陰極線管のフアンネル部を前記開口方向へ押圧する弾力性を有した押圧部とを具備したことを特徴とする陰極線管取付装置。
- (2) 前記押圧部は、取付装置本体の複数箇所に舌片状に形成されたことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載の陰極線管取付装置。
- (3) 前記押圧部は、前記取付装置本体に連統一体に形成される略台形円筒体の端部にすり割を設けて形成されたことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載の陰極線管取付

装置。

- (4) 前記押圧部は、前記取付装置本体に連統一体に形成される略台形円筒体の一部に略コ字形のすり割を設けて形成したことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載の陰極線管取付装置。

3. 考案の詳細な説明

本考案はカラーテレビジョン受像機のブラウン管等を保持する陰極線管取付装置に関する。

カラーテレビジョン受像機のブラウン管を前面キャビネットの開口部にその映像面を対応させて配設し固定する手段として第1図に示すような手段がある。すなわち11はカラーブラウン管であり、その前面の映像面部111は、キャビネット12の開口13に対応して配設される。そして、前記キャビネット12の裏面にはその開口周縁に複数の取付金具14、15、16、17の一端部が螺子18、19、20、21によつて固定される。また前記取付金具14、15、16、17の他端部は、それぞれ

開口 13 の中心方向へ延在されており、かつ、前記カラークラウン管 11 のネック部 11、側へ配設されている。そして、取付金具 14、15、16、17 の各先端は、たとえば外方に U 字状に折曲され、この部分を連らねるように締付バンド 22 が通され、締付具 23 によつて締付けられる。従つて、前記カラークラウン管 11 は開口 13 の周縁にキャビネット 12 の内側から押付けられるように固定される。

上記した従来の陰極線管保持装置によると、部品点数及び組立工数が多く、高価となる欠点がある。

本考案は上記従来の欠点を除去すべくなされたもので、組立が簡単で部品数も少くて済み、安価で安定した陰極線管の固定効果が得られる陰極線管保持装置を提供することを目的とするものである。

以下本考案の実施例を第 2 図及び第 3 図を参照して詳細に説明する。すなわち第 2 図^(a)(b)、(c) 3 字加入において 25 は、カラークラウン管である。こ

のカラーブラウン管25の映像面は、受像機キャビネット26の前面開口27（同図(b)に示す）と平行にこれを閉じるように配設される。そして、キャビネット26の裏面側から、取付装置本体28が前記開口27の周縁つまり、カラーブラウン管25の映像面周縁に配設され、前記キャビネット26に螺子29、30、31、32等で固定される。前記取付装置本体28は、略矩形状枠体であり、弾力性を有した絶縁性の合成樹脂などによつて成形されており、カラーブラウン管25の周縁に鋸状に設けられるフレーム（図示せず）あるいは周縁部251（第2図(c)に示す）を前記キャビネット26の内面に押し付け挟むことができる。しかしこの保持力のみでは、カラーブラウン管25とかキャビネットの開口27等のけらつきによつて、がたつきが生じるのでさらに、取付装置本体26の中心方向（つまりカラーブラウン管の軸心方向）に向つて延在されたたとえば舌片状の押圧部33、34、35、36をたとえば四角にそれ

それ一体形成している。この押圧部 33, 34, 35, 36 は、カラークラウン管 25 の漏斗状フアンネル部 26 を弾力的に前面方向へ押圧するように、管面に略沿った彎曲形状に成形されている。

なお本考案は、上記実施例に限定されるものではなく、第 3 図に示すように、複数の押圧部 37 が複数のすり割り 38 によつて形成されてもよい。すなわちこの場合は、取付装置本体 28 に略台形円筒体 39 が一体成形され、この端部にすり割り 38 が設けられたものである。

さらに本考案は、第 4 図に示すように取付装置本体 28 にフアンネル部外周を覆うような略台形円筒体 40 を一体に形成し、この円筒体 40 の一部にコ字形のすり割 41, 42, 43, 44 を形成し、このすり割で囲まれる部分を押圧部 45, 46, 47, 48 としてもよい。この場合は同図 (b) に示すように押圧部 45, 46, 47, 48 を弾力性を有するように内部方向に折り曲げておき陰極管のフアンネル部に押付

けることができるように設定しておく方がよい。
なお同図(c)は同図(a)のB↔B'からみた断面図である。

上記の如く構成される本考案の陰極線管取付装置によると、カラーブラウン管を取付け固定する作業が非常に容易となり、キャビネットに取付装置本体を螺子等で締付けるだけでよい。したがって従来の如く締付バンドを締付ける作業もこのバンド自体も不用となる。また従来に比べ部品数も少く安価となる。さらに、取付装置本体で充分固定効果が得られなくとも押圧部によつてこれを補うことができ、ブラウン管のぼらつきとか開口部の形成げらつきに対しても充分対処することができる。

以上説明したように本考案は、組立が簡単で部品数も少くて済み、安価で安定した陰極線管の固定効果が得られる陰極線管取付装置を提供することができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は従来の陰極線管取付装置を示すもの

で、同図(a)は断面図、同図(b)は背面図、第2図は本考案陰極管取付装置の一実施例を示すもので、同図(a)は背面図、同図(b)はA-A'線上からみた断面図、同図(c)はB-B'線上からみた断面図、第3図は本考案の他の実施例を一部断面して示す側面図、第4図は本考案の更に他の実施例であり、同図(a)は背面図、同図(b)はA-A'線上からみた断面図、同図(c)はB-B'線上からみた断面図である。

25...カラーブラウン管

26...キャビネット 27...開口

28...取付装置本体

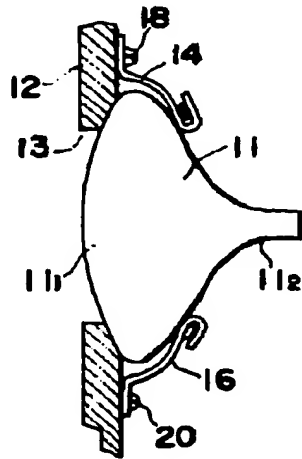
33~37, 45~48...押圧部

38, 41~44...すり割

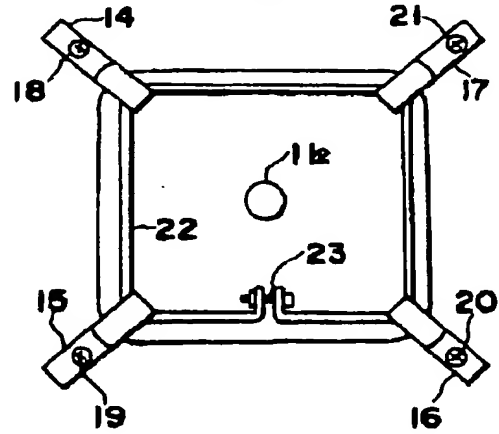
出願人代理人 弁理士 鈴 江 武 彦

第1図

(a)

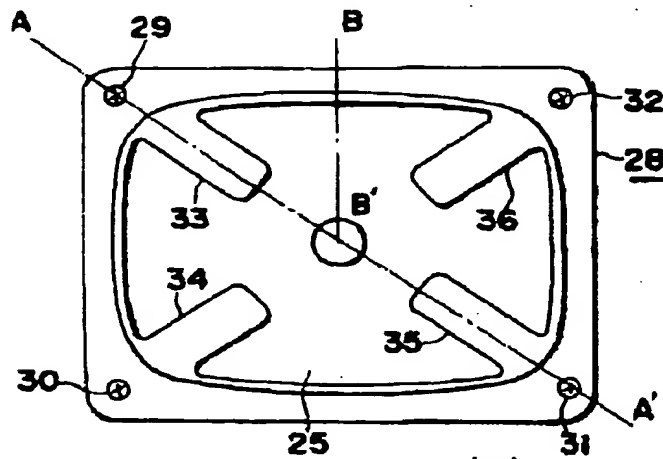


(b)

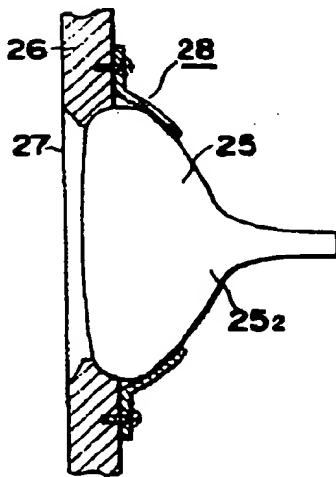


第2図

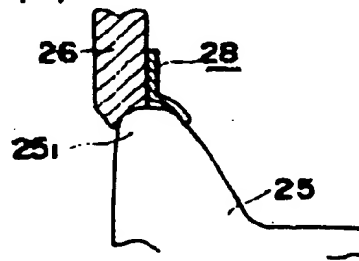
(a)



(b)



(c)



90769027

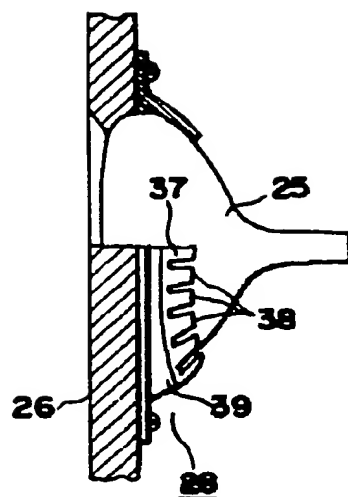
767561 $\frac{1}{2}$

119823 2

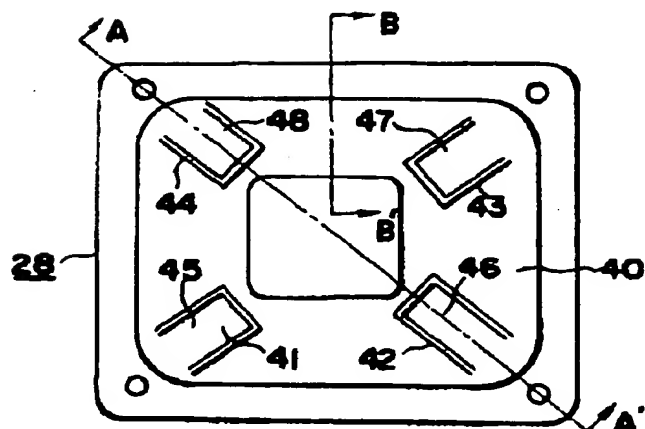
出願人 東京芝浦電気株式会社

代理人 鈴江武彦

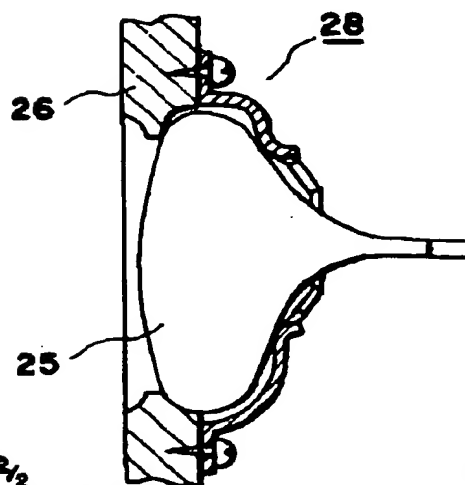
才 3 図



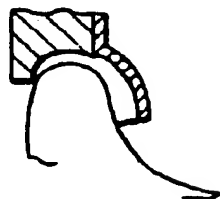
才 4 図 (a)



(b)



(c)



90769027
767561 2/2

119823 1/2

出 願 人 東京芝浦電気株式会社
代 理 人 鈴 江 武 彦

5 添付書類の目録

- (1) 委任状
- (2) 明細書
- (3) 図面
- (4) 願書原本

1通
1通
1通
1通

同時提出された特許願(1)に添付する。

6 前記以外の考案者、実用新案登録出願人、代理人

代理人

住所 東京都港区芝西久保桜川町2番地 第17森ビル

氏名 (5743) 弁理士 三 木 武 雄

住所 同 所

氏名 (6881) 弁理士 坪 井

特許
弁理
士
印

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☒ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.